

# 12月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	35,953	97	34,908	253	102	232	-	0.0	愛媛、長崎、熊本、和歌山、静岡産中心で全体の9割を占める。早生は12月上旬終了となる。中旬からは中生種に切り替わる。愛媛は生育後半の降雨により玉肥大は進んでいるが、浮皮等による品質低下も見られ、入荷量は前年よりやや少なくなる。長崎も入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格はほぼ前年並みとなる見込み。
りんご類	6,448	90	6,795	255	110	250	912	14.1	青森、長野、岩手、山形産中心の入荷となる。品種はふじが中心となり、ジョナゴールド、王林なども出回る。青森、長野とも品質は良好であるが、小玉傾向で40玉中心となっている。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
いちご類	2,212	115	2,807	2,017	85	1,605	-	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。全体的には、夏季の高温による花芽分化の遅れや生育遅れが一部で見られるが、概ね生育は順調。栃木、福岡とも順調な入荷となる。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回るものの平年並みとなる見込み。
かき類	3,569	85	2,657	192	170	282	55	1.5	福岡、奈良、岐阜、愛媛、和歌山産が中心となる。品種は富有柿が約8割を占める。福岡、奈良の富有柿は12月中旬から冷蔵品に切り替わるが、入庫量は前年よりかなり少なくなる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。
メロン類	918	90	970	775	103	760	2	0.2	熊本、静岡、宮崎産が中心となる。品種はアールスメロン、アンデスなど。熊本のアールスメロンは生育順調であるが、作付面積が前年より20%程度減少している。静岡の作付は前年並み、生育は順調で6玉の8kg台が中心となる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
ほしがき	584	80	596	1,805	104	1,824	55	9.4	長野、山梨、富山、福島産が中心となる。各産地とも原料柿が前年より大幅に少ないことから、全体の入荷量は前年を大幅に下回る見込み。価格は前年をやや上回る見込み。
西洋なし (ラ・フランス)	491	105	608	363	103	302	453	92.3	山形産中心の入荷でほぼ全量を占める。果実肥大、品質ともに良好で、入荷量は前年を上回る。本年産の西洋なしについては「味に外れがない」と品質を評価する声が多く、価格も前年をやや上回る見込み。